

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 7 年 4 月 1 日

所在地 山梨県南都留郡西桂町倉見 113
企業名 武藤株式会社
代表者 武藤 圭亮

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

「誰ひとり取り残さない」SDGs の理念は、地域に根付いた企業として地域と共に手を携えて歩んでいきたいという弊社の考えと同じくするものであるから、地元の福祉施設やフードバンクと連携し、つなげて循環する社会の実現を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 4 月 1 日	
☑環境 □社会 □経済	余剰やキズの自社織物を利用した製品で廃棄量を削減	ストール再利用枚数 2030 年：1,000 枚 (約 70Kg)	ストール再利用枚数 2025 年 3 月まで： 850 枚 (59.5kg)	(進捗率) 85%
□環境 ☑社会 ☑経済	県内の障がい者就労支援事業所に新製品制作を一般的工賃で発注し、やりがいや工賃アップに寄与する	福祉施設への支払い賃金 (累計) 2030 年：2,000,000 円	支払い賃金 (累計) 2025 年 3 月まで： 925,102 円	(進捗率) 46%
□環境 ☑社会 ☑経済	新製品を寄付金付き商品とし、フードバンク山梨の食糧支援に参加	フードバンク山梨への寄付 (累計) 2030 年：1,000,000 円	フードバンク山梨への寄付 (累計) 2025 年 3 月まで： 510,500 円	(進捗率) 51%

2030 年の目指す姿

- ・廃棄量削減の意識から、余剰を減らすためより計画的な生産とキズを減らすため織技術の研鑽。
- ・企業が進める単なる寄付活動ではなく、共に地域に暮らす「製品の購入者」や就労支援事業所など社会みんなで食糧支援活動に参加しているという気運の醸成の一役を担う。
- ・弊社からの継続的な発信により、フードバンクや就労支援事業所を地域社会からの理解と支援につなげる。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第 3 号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件 2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。